演題番号

演題名：かかりつけ薬剤師に関する意識調査からみた問題点の検討

～地域医療における薬剤師職能の向上を目指して～

所属：有限会社ファーマティカ　たけの調剤薬局（茨城県）

氏名：山下雄司　大塚岳　中曽根英明　横田敬子　日永徳彦　増山智子
中島幹子　齋藤勝裕　大野田能婦子　松浦吉晃　竹野信吾

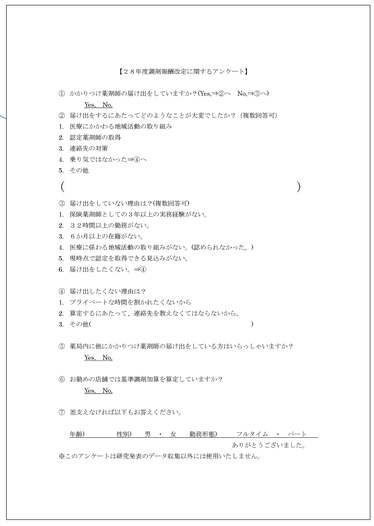
はじめに / 背景

平成28年度の調剤報酬改定にて、新たに「かかりつけ薬剤師制度」が導入された。
本来すべての薬剤師がなることが理想ではあるが、かかりつけ薬剤師になるには様々な要件があり届出に消極的な声も聞こえている。
そこで今回、地域の薬局薬剤師に対しアンケートを行い、かかりつけ薬剤師になるための問題点を検討することにした。

方法

当薬局および近隣の薬局に勤務する薬剤師に対し紙媒体によるアンケートを無記名で実施

実際のアンケートです



【２８年度調剤報酬改定に関するアンケート】

① かかりつけ薬剤師の届け出をしていますか？(Yes,⇒②へ　No,⇒③へ)
　Yes、No,
② 届け出をするにあたってどのようなことが大変でしたか？（複数回答可）
1. 医療にかかわる地域活動の取り組み
2. 認定薬剤師の取得
3. 連絡先の対策
4. 乗り気ではなかった⇒④へ
5. その他
（　　）
③ 届け出をしていない理由は？(複数回答可)
1. 保険薬剤師としての３年以上の実務経験がない。
2. ３２時間以上の勤務がない。
3. ６か月以上の在籍がない。
4. 医療に係わる地域活動の取り組みがない。(認められなかった。)
5. 現時点で認定を取得できる見込みがない。
6. 届け出をしたくない。⇒④
④ 届け出したくない理由は？
1. プライベートな時間を割かれたくないから
2. 算定するにあたって、連絡先を教えなくてはならないから。
3. その他(　　)
⑤ 薬局内に他にかかりつけ薬剤師の届け出をしている方はいらっしゃいますか？
　Yes、No,
⑥ お勤めの店舗では基準調剤加算を算定していますか？
　Yes、No,
⑦ 差支えなければ以下もお答えください。
年齢)　　性別)　男　・　女　勤務形態)　フルタイム　・　パート
ありがとうございました。
※このアンケートは研究発表のデータ収集以外には使用いたしません。

結果

構成比

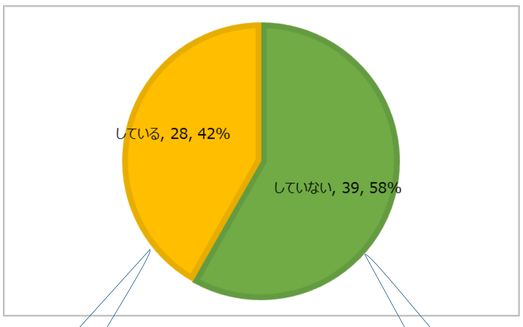
配布数　68枚（23店舗）　　回答数67
回収率　98.5%

性別　男性　36　女性29　未回答　2

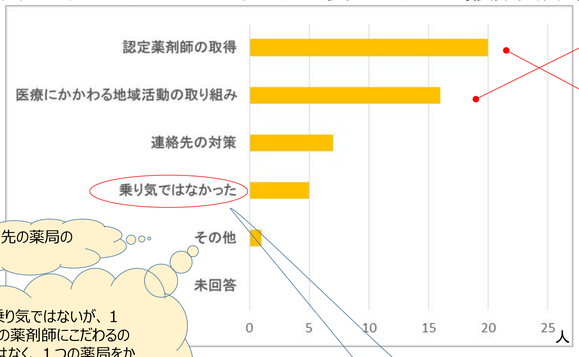
年齢　20代　7
　　30代　18
　　40代　11
　　50代　16
　　60代～　3
　　未回答　12

勤務体系
　　フルタイム　52
　　パートタイム　11
　　未回答　　4

①かかりつけ薬剤師の届け出をしていますか？(Yes,⇒②へ　No,⇒③へ)



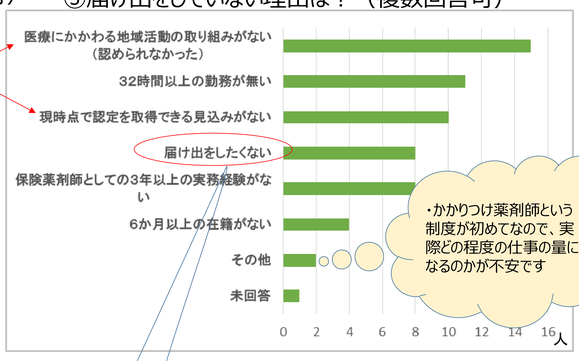
②届け出をするにあたってどのようなことが大変でしたか？（複数回答可）



・勤務先の薬局の方針

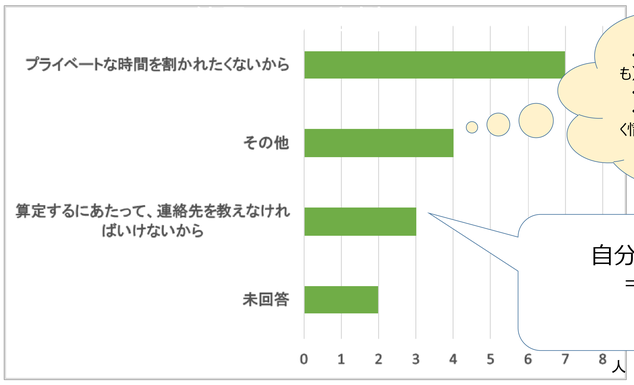
・乗り気ではないが、１人の薬剤師にこだわるのではなく、１つの薬局をかかりつけにすべきだった。そのうえでかかりつけ薬剤師の届け出をする

③届け出をしていない理由は？（複数回答可）



・かかりつけ薬剤師という制度が初めてなので、実際どの程度の仕事の量になるのかが不安です

④届け出したくない理由は？（複数回答可）



・活動できるか否か不安（体力的にも）
・健食、サプリも含めた管理は不可能
・外出時、手元に情報がないので満足いく情報提供ができない

自分の連絡先は教えるのは不安
⇒当薬局ではIP電話を
利用しています

IP電話について検討した結果、当薬局ではガラケーでも使える050plus for Biz®を使用しています。

考察・まとめ

今回の調査から届出をしている・していないに関わらず地域活動の取り組みに対して苦慮しているように思われる。届出済み群では認定薬剤師の取得に次いで2番目に多い項目であったのに対し、未届出群では最も多くの理由として挙げられている。順位が逆転している原因としては届出済み群では以前から積極的に地域活動に参加していたが、未届出群では今回はじめて要件としてあげられた為にどのような活動が行われているのかを解らなかったと推測もできる。そのほかにも個人の負担への不安感もあるように感じられた。
したがって地域活動への参画をしやすい方法・環境を検討し整備する必要がある。今後は成功事例、失敗事例を収集し、対策を検討してゆくことにより地域の薬剤師が連携をし、新たな地域活動を創出することで薬剤師職能の向上に寄与してゆきたい。